

未来への挑戦

BEYOND

Expectations

令和7年度上尾市長選挙 政策比較表



公益社団法人 埼玉中央青年会議所

2025年上尾市長選挙 政策比較

	はたけやま 稔 候補	小内 かつひろ 候補	田島 じゅん 候補
⑤市民の可処分所得を増やすために、市独自の税制優遇措置（減税・控除拡大など）を導入するべきだと思いますか？	×	×	○
⑥上尾市のみならず日本の将来を担う子どもについて、少子化対策として、子育て支援策の拡充は必要だと思いますか？	○	○	○
⑦市民の声を広く聴取するための新たな施策は必要だと思いますか？	○	○	○
⑧市内の民間企業やNPOをより活性化させる施策は必要だと思いますか？	○	○	○
⑨市民のシビックプライドを醸成させるための施策は必要だと思いますか？	○	○	○

2025年上尾市長選挙 政策比較

	はたけやま 稔 候補	小内 かつひろ 候補	田島 じゅん 候補
⑪生活困窮者への支援（住宅支援・就労支援など）を拡充するべきだと思いますか？	○	○	○
⑫上尾市の防災力強化のために、避難所の耐震化・備蓄の拡充を進めるべきだと思いますか？	○	○	○
⑬高齢者・子育て世帯への経済的支援（手当・補助制度）を拡充するべきだと思いますか？	○	○	○
⑭公共施設の《省エネ化（LED化・断熱改修など）》を推進するべきだと思いますか？	○	○	○
⑮市役所の業務効率化のために、AIやデジタル化（DX）を積極的に導入するべきだと思いますか？	○	△	○

はたけやま 稔（はたけやま みのる）立候補予定者

①上尾市に対する現状認識(良い点)		②上尾市に対する現状認識(悪い点)		③上尾市が目指すべき将来像		④上尾市長選挙立候補理由					
本市は、都心への優れたアクセスと、生活に必要な施設が充実し高い利便性を両立させているだけでなく、大宮台地という安定した地盤により大規模災害リスクも低く、市民の皆様が安心して便利に暮らせる住環境の良さが大きな強みとなっています。また、今年度「保育所持機児童ゼロ」を達成するなど充実した子育て支援策により、子どもたちが健やかに成長できる環境が整っています。この「住みやすさ」に加え、上尾道路などのインフラ整備により、交通アクセスが大きく向上し、大規模な物流拠点の立地や大型商業施設の出店などの新たな活力を生み出しています。今後も、上尾道路の沿道利用などをさらに促進することで、新たな産業誘致や経済活動の活性化が期待されます。		自然環境と都市機能とのバランスもよく住みやすいまちですが、そのバランスのよさがゆえに、特徴がないと見られてしまいがちです。また、まちの賑わい創出や農業振興なども課題としてあげられます。		子どもから高齢者まで誰もがいきいきと自分らしく暮らし、「上尾に住んで良かった・これからも住み続けたい」と思える魅力あるまちをつくっていききたいと考えます。		激甚化・頻発化する自然災害に対する防災・減災対策、カーボンニュートラル実現に向けた取り組み、さらにはDX化による市民サービスの向上と行政の効率化に取り組んでいますが、まだ道半ばと考えています。それらにしっかりと向き合い、あらゆる世代が活力にみちた生活を送ることができる、持続可能なまちづくりを実現したいと考えております。					
⑤市民の可処分所得を増やすために、市独自の税制優遇措置（減税・控除拡大など）を導入すべきだと思いますか？		⑥上尾市のみならず日本の将来を担う子どもについて、少子化対策として、子育て支援策の拡充は必要だと思いますか？		⑦市民の声を広く聴取するための新たな施策は必要だと思いますか？		⑧市内の民間企業やNPOをより活性化させる施策は必要だと思いますか？		⑨市民のシビックプライドを醸成させるための施策は必要だと思いますか？		⑩上尾市をシェーサーにするなら、どのような強みをアピールしますか。または、新たな施策がありますか？	
×		○		○		○		○		市の魅力は、都心へのアクセスがよいことや買物や通院など日常生活での利便性が高いこと、自然災害に対する不安が少ないことなどに加え、子育てがしやすく、便利で安心して暮らせるまちであることが最大の魅力と考えております。これらの魅力を活かした官民連携によるシティプロモーションを推進し、シビックプライドの醸成を図りながら、定住促進や関係人口の拡大を目指してまいります。	

はたけやま 稔（はたけやま みのる）立候補予定者

⑪生活困窮者への支援（住宅支援・就労支援など）を拡充するべきだと思いますか？	⑫上尾市の防災力強化のために、避難所の耐震化・備蓄の拡充を進めるべきだと思いますか？	⑬高齢者・子育て世帯への経済的支援（手当・補助制度）を拡充するべきだと思いますか？	⑭公共施設の《省エネ化（LED化・断熱改修など）》を推進するべきだと思いますか？	⑮市役所の業務効率化のために、AIやデジタル化（DX）を積極的に導入するべきだと思いますか？
○	○	○	○	○

⑯官製談合事件が発生してしまった上尾市ですが、再発防止策はありますか？また、どのような施策か教えてください。	⑰上尾市長就任後【最初の100日でやること】を具体的（担当、成果、検証方法等）に教えてください。	⑱【責任ある財源管理】新たな取り組みに掛かる費用は、どのように確保するのかを具体的（増税・歳出削減・貯金（基金）など）に教えてください。	⑲その他（自由項目）
市長就任1期目から一貫して「公正な政治・公平な行政」の推進に全力を傾注してきました。就任前に起こった上尾市西貝塚環境センターの入札に関する贈収賄事件を受け、速やかに第三者委員会を設置しました。同委員会からいただいた再発防止策については、すべてにおいて真摯に向き合い、各取り組みを積極的に進め、行政で出来ることは全て実施してきました。2期目においては、行政運営の透明性を一層向上させるため、県内で2例目となる「上尾市公文書管理条例」を昨年施行し、さらに、組織全体のガバナンスと不正防止を徹底するため、政令市を除いては県内初となる「内部統制制度」を今年度から本格的に導入しました。今後も、公平で透明性の高い行政運営こそが市政の根幹であると捉え、より一層公正な市政運営を推進していきたいと考えています。	・物価高騰に対する支援策・カスタマーハラスメントに対する対策方針・マニュアルの策定・上平広場及び周辺整備に係る市内検討会議設置・加齢性難聴者のための補聴器購入補助制度の整備・子育て世帯に対する訪問型の相談支援体制の整備・上尾市ホームページのリニューアル着手・戸崎公園へのバスケットボール（3×3）コート整備の推進	・国、県からの補助金やふるさと納税、財政調整基金等の活用を積極的に図っていきます。	

小内 かつひろ（こない かつひろ）立候補予定者

①上尾市に対する現状認識(良い点)	②上尾市に対する現状認識(悪い点)	③上尾市が目指すべき将来像	④上尾市長選挙立候補理由		
上尾市は東京から約35kmの距離に立地し、都心へのアクセスが良好な街です。不動産会社が実施している「住み続けたいまち」調査でも高い評価を受けています。2050年時点の人口予測が1割減にとどまるなど、これから深刻な人口減少に直面する日本の中では、人口規模を比較的維持できることが見込まれます。また、財政調整基金の積立額は60億円を超え、健全な財政を維持しています。市中心部の商業集積、道路網、インフラ、良好な住宅地など、活用できる多くの社会資本があります。	上尾市の人口一人当たりの教育費は、総務省の「類似市」という概念を用いて、立地、人口規模、面積、産業構造が類似している他市と比較すると、他市の6割程度しかありません。教育予算は他市と比較して顕著に不足しているといえます。また、上尾市はJRの鉄道駅が2つしかなく、交通の多くを自動車やバスに頼っている街です。それにもかかわらず、特に駅から離れた地域でバスの本数が不足しているという声を多く聞きます。地域公共交通の整備は上尾市の大きな課題です。そして、上尾市には市営住宅が1つもなく、市民向けの住宅政策は貧弱です。大規模団地をはじめとして全市的に空き家・空き部屋の増加が深刻化しており、実効性のある住宅政策が求められています。さらに、現職市長には、政策の根拠を市民に十分に説明し、市民と対話して政策を作っていくという姿勢がありません。現職市長は公共施設を35%も削減するという計画を示していますが、その根拠を何ら示さなかったため、市民から厳しい批判を受けました。学校統廃合問題で実施したタウンミーティングで市民から批判的な意見が続出すると、現職市長はタウンミーティングをまったく開催しなくなりました。私は、市民と対話する姿勢を持たない市長には、本当の意味で市民に寄り添った政策は打ち出せないと考えます。	上尾市の最大の魅力は、住居・買物・生活・教育・交通のバランスが取れた「生活しやすいベッドタウン」だと思います。これらの上尾市の魅力をより活かすため、教育予算を他市並みに大場に増額し、学校給食費の早期完全無償化、学校の教員の定員割れ解消、学校の支援員や補助員の増員に取り組み、すべての子どもたちに良好な教育を提供します。格安乗り合いタクシーを早期に導入し、運転免許を持たない方も含めすべての市民の移動の自由を保障し、人流の増加・街の活性化を図ります。市内で新規に就労する介護従事者・保育士への補助や介護従事者の新規資格取得への補助を導入し、保育・介護人材を確保します。空き家対策や団地の活性化、一定の範囲での家賃補助などの住宅政策に取り組み、物価高に苦しむ市民の暮らしを応援します。これらの政策を通じて、「すべての市民が生活しやすい上尾」をつくります。	上尾には市民と政策対話ができる市長が必要です。私は、上尾市各地でタウンミーティングを開催して市民の皆さまのご意見・ご要望をうかがい、それをもとに市長選で訴える政策を作り上げてきました。まず、市が十分な根拠に基づいて計画や政策を市民にお示しする、それをたたき台としてタウンミーティング等で市民の皆さまのご意見・ご要望をうかがい、修正すべき点は修正する、そして、なるべく多くの関係者の納得・合意を得て政策を最終決定する、民主的な市政運営にはこのようなプロセスが欠かせません。上記のような民主的な市政運営を上尾市で実現するには、トップを交代させる必要があると考え、上尾市長選挙への立候補を決意しました。		
⑤市民の可処分所得を増やすために、市独自の税制優遇措置（減税・控除拡大など）を導入するべきだと思いますか？	⑥上尾市のみならず日本の将来を担う子どもについて、少子化対策として、子育て支援策の拡充は必要だと思いますか？	⑦市民の声を広く聴取するための新たな施策は必要だと思いますか？	⑧市内の民間企業やNPOをより活性化させる施策は必要だと思いますか？	⑨市民のシビックプライドを醸成させるための施策は必要だと思いますか？	⑩上尾市をシティーセールスするなら、どのような強みをアピールしますか。または、新たな施策がありますか？
×	○	○	○	○	「すべての市民が生活しやすい上尾」を積極的にPRします。住宅価格や家賃が急上昇している現在こそ、上尾に住民を呼び込むチャンスです。一定の要件のもと家賃等を補助する制度や、市民が市内の事業者を利用して住宅等のリフォームを行った場合にそのリフォーム費用を補助する制度をつくり、市民の住居費の負担を軽減します。また、教育予算の大幅増額や格安乗り合いタクシーを早期に実現させ、「子育てをするなら上尾」、「免許返納後に暮らすなら上尾」を全国的にPRします。これらのPRを通じて新住民を積極的に呼び込み、上尾市全体の活性化につなげます。

小内 かつひろ（こない かつひろ）立候補予定者

⑪生活困窮者への支援（住宅支援・就労支援など）を拡充するべきだと思いますか？	⑫上尾市の防災力強化のために、避難所の耐震化・備蓄の拡充を進めるべきだと思いますか？	⑬高齢者・子育て世帯への経済的支援（手当・補助制度）を拡充するべきだと思いますか？	⑭公共施設の《省エネ化（LED化・断熱改修など）》を推進するべきだと思いますか？	⑮市役所の業務効率化のために、AIやデジタル化（DX）を積極的に導入するべきだと思いますか？
○	○	○	○	△

⑯官製談合事件が発生してしまった上尾市ですが、再発防止策はありますか？また、どのような施策か教えてください。	⑰上尾市長就任後【最初の100日でやること】を具体的（担当、成果、検証方法等）に教えてください。	⑱【責任ある財源管理】新たな取り組みに掛かる費用は、どのように確保するのかを具体的（増税・歳出削減・貯金（基金）など）に教えてください。	⑲その他（自由項目）
市職員を対象にしたコンプライアンス研修において、官製談合のリスクや違法性について理解を深めることができるよう、外部専門家の意見も聞きつつ、研修の内容を工夫します。また、公益通報制度を周知し、公正な運用を図ります。公益通報制度とは、市職員が不正を覚知した場合に、通報窓口や外部機関等に安全に通報することを保障し、通報を理由とした一切の不利益取扱いを禁止する制度です。私は、弁護士として、公益通報をしたことを理由に解雇等の不利益取扱いを受けた労働者の代理人を多く務めてきましたが、その経験を活かし、市のトップとして公益通報をしても不利益を受けることは絶対にないという姿勢を示し、公益通報制度の積極的・公正な運用を図ります。	市民との政策対話を行うため、タウンミーティングを原則として毎月1回、定期的に開催します。市長に直接会って意見や要望を伝えることができる「市民と市長の面会日」の運用を開始します。また、学校給食費を2026年度から完全無償化するべく、新年度予算に盛り込みます。格安乗り合いタクシーの実証実験に着手する時期を明示し、必要な関連経費を新年度予算に盛り込みます。	上尾市には財政調整基金（一般家計の貯金に相当するもの）が65億円あり、しかも2020年から2024年までの5年間で財政調整基金は36億円増加しています。少なくとも、財政調整基金の年次増加分については、これを有効活用すべく新政策の財源に充てます。また、国は学校給食費の無償化について、小学校は2026年度から実施し、中学校も近い将来に実施する方針を示しています。学校給食費の完全無償化に要する予算は、国が全国一律に無償化を実施するまでの一時的なものと想定されることから、そのような一時的な支出については財政調整基金の一部取り崩しを検討します。上尾市は、国や県が実施する学力テストに加え、市独自の学力テストをすべての子どもを対象に行っていますが、一斉学力テストは国や県が実施するものだけで十分です。目的や効果が疑わしい施策は廃止し、新政策の財源に充てます。	

田島 じゅん（たじま じゅん）立候補予定者

①上尾市に対する現状認識(良い点)	②上尾市に対する現状認識(悪い点)	③上尾市が目指すべき将来像	④上尾市長選挙立候補理由		
・交通の便が良い（＝東京への1時間程度の通勤通学圏内、東京や行楽地への車アクセス）。・首都圏の他エリアに比して、土地住宅購入価格が値頃で購入可能。・賑やかな都会の部分とのどかな田園やふるさと地域が同居している。・立地や歴史文化など様々な魅力を持った特色ある地域によって上尾市が構成されている。・農業、観光、自然、スポーツを楽しめる地域性や市営県営施設がある。	・常態化している交通渋滞、東西交通アクセスの悪さ。・昔と比して閑散としてしまった駅周辺地域。・時代の変化に応じた幹線道路沿い地域の土地有効活用が進んでいない。・それぞれの地域の良さや特色を活かした歴史文化保存や地域振興策、施設整備が不十分。・昔は盛んだった農業や豊かだった自然、老朽化したスポーツ施設等、時代の変遷や要望に合った対応や施策が不十分。	・各地域の特色を活かして強みをつなぎ、上尾市全体の魅力をさらにアップする。・農業・観光・自然・スポーツ、各地区の得意分野を合的有機的に結合させ上尾市の可能性を解き放つ。・市内どこへでも不自由なく誰もが行きたい場所へ行ける便利な街を実現し、生活しやすさアップ。・出会う⇄集う⇄学ぶ、公共空間いっぱい、街・全ての世代が安心して過ごせる街・働く人が豊かに暮らし、誇りの持てる街上尾を次の世代はしっかり引き継ぐ。	・決断実行せず、少しの異論に対してもゼロベースの見直しで一向に前に進まない、著しく遅滞してしまった8年間の現市政に対する危機感。		
⑤市民の可処分所得を増やすために、市独自の税制優遇措置（減税・控除拡大など）を導入すべきだと思いますか？	⑥上尾市のみならず日本の将来を担う子どもについて、少子化対策として、子育て支援策の拡充は必要だと思いますか？	⑦市民の声を広く聴取するための新たな施策は必要だと思いますか？	⑧市内の民間企業やNPOをより活性化させる施策は必要だと思いますか？	⑨市民のシビックプライドを醸成させるための施策は必要だと思いますか？	⑩上尾市をシティーセールスするなら、どのような強みをアピールしますか。または、新たな施策がありますか？
○	○	○	○	○	・市民が生活の足に不便を感じることなく、自由に市内を行き来できる街。・それぞれの地域の立地・歴史文化・特色を活かした地域ごとのビジョンやコンセプトに沿った街づくりを促進し、各地区の強みをつなぎ新たな上尾の未来をつくりだす。・公共施設の更新・整備時期を一気にむかえ、上尾駅前周辺の再々開発のタイミングをチャンスと捉え、公共施設の集約化・多機能化により市民の誰もが身近に快適に過ごせる公共空間を増やし、同時に公共インフラ整備の際には防災対策を充実させることにより、市民の誰もが安心と安全をいつでもどこでも享受できる街づくりを目指す。

田島 じゅん（たじま じゅん）立候補予定者

⑪生活困窮者への支援（住宅支援・就労支援など）を拡充するべきだと思いますか？	⑫上尾市の防災力強化のために、避難所の耐震化・備蓄の拡充を進めるべきだと思いますか？	⑬高齢者・子育て世帯への経済的支援（手当・補助制度）を拡充するべきだと思いますか？	⑭公共施設の《省エネ化（LED化・断熱改修など）》を推進するべきだと思いますか？	⑮市役所の業務効率化のために、AIやデジタル化（DX）を積極的に導入するべきだと思いますか？
○	○	○	○	○
⑯官製談合事件が発生してしまった上尾市ですが、再発防止策はありますか？また、どのような施策か教えてください。	⑰上尾市長就任後【最初の100日で行うこと】を具体的（担当、成果、検証方法等）に教えてください。	⑱【責任ある財源管理】新たな取り組みに掛かる費用は、どのように確保するのかを具体的（増税・歳出削減・貯金（基金）など）に教えてください。	⑲その他（自由項目）	
建設業界の談合、建築業界の構造計算書偽装、食品産地偽装、粉飾決算、自動車業界の型式指定不正行為等々、様々な業界や名だたる大企業においても不正行為は繰り返されてきた。自治体においても、大小含め様々な職務規定違反行為や不正行為が発生している現状に鑑みて、完璧完全な再発防止策を講じることは難しく、日常的かつ継続したコンプライアンス意識の徹底及び組織の風通しやコミュニケーションの良さ、そういった日々のルール遵守や行動規範の徹底が再発防止策に繋がると考える。	新交通構想＝市民が生活の足に不便を感じることなく、自由に市内を行き来できる街の実現のため、上尾の地域公共交通をリ・デザインし地域公共交通の利便性・生産性・持続可能性を高め、関係者が連携・協働して地域ぐるみで地域公共交通を支えていくあるべき姿を策定する。	・企業誘致、交通の便の良さを活かした産業集積強化・適切なタイミングでの公共施設の更新・集約化・多機能化・ふろさと納税返礼品の発掘・魅力強化・国県の補助金獲得拡大のための専門性強化	デフレからインフレ・物価高人件費高に変化したここ数年の社会経済情勢下において、問題の先送りや決断せずに検討ばかり続ける市政運営は税金の垂れ流しに等しい。また、各地域の特色や魅力を活かし最大限に伸ばそうとしない取り組み姿勢は、ひいては、上尾市全体の魅力や可能性を減退させてしまっている。上尾で生まれ育ち、その変遷を身をもって体感してきた候補こそが今の上尾市に活気と元気をもたらし、また、上尾の未来を切り拓くことが出来る唯一の候補と考える。	

「人民の、人民による、人民のための政治」エイブラハム・リンカーン（アメリカ第16代大統領）
「自由な社会において、投票は力の象徴である。」ルース・B・ギンズバーグ（アメリカ最高裁判事）
「民主主義は、すべての人が平等に重要であることを信じる信念である。」マハトマ・ガンディー（インド独立運動の指導者）
「民主主義は、決して完成されたものではなく、常に改善されるべきものである。」バラク・オバマ（アメリカ第44代大統領）
「すべての大きな変革は、意識を持った市民による小さな一歩から始まる。」アリス・ウォーカー（作家）
「投票しないということは、他人にあなたの未来を決めさせることだ。」パトリック・J・ケネディ（アメリカ政治家）
「議論は民主主義の命である。」ロバート・ハッチンス（教育哲学者）
「民主主義において、最も強い権力を持つのは、声を上げる市民だ。」フランクリン・D・ルーズベルト（アメリカ第32代大統領）
「無知なままで自由であり続けることは不可能だ。」トマス・ジェファソン（アメリカ独立宣言の起草者）
「誰かがあなたのために投票するのを待つのではなく、あなた自身がその一票を投じなさい。」マーティン・ルーサー・キング・Jr（公民権運動指導者）

未来への挑戦

BEYOND Expectations

「市民の無関心は、独裁者を育てる温床である。」ジョージ・サンタヤーナ（哲学者）
「あなたの一票は小さいかもしれない。しかし、それは大きな違いを生む力を持っている。」ジョン・F・ケネディ（アメリカ第35代大統領）
「選挙は、過去と未来の間の約束を更新する機会である。」レイズ・アーレンツ（政治学者）
「一票の価値は、一票を投じる行為によってのみ実感される。」カール・サンドバーグ（詩人）
「投票とは、あなたが世界をどのようにしたか選挙は市民の祝祭である。」ジャン＝ジャック・ルソー（哲学者）
「未来は、行動する人々によって形作られる。」バラク・オバマ（アメリカ第44代大統領）
「投票することは、あなたの権利であると同時に、あなたの声を届ける責任でもある。」エリナー・ルーズベルト（社会活動家）
「政治に無関心でいることは、他人に自分の未来を任せることを意味する。」プラトン（哲学者）
「投票は、未来を形作るための最も平和的な方法だ。」ルース・B・ギンズバーグ（アメリカ最高裁判事）
「投票しない人々は、自分以外の誰かに決定権を与えることを選んでいるのだ。」ジョージ・ジーン・ネイサン（劇作家）
「主権者とは、自分の行動とその結果に責任を持つ人のことだ。」アルベルト・シュバイツァー（哲学者）



公益社団法人 埼玉中央青年会議所